

自然エネルギーの国ニュージーランドから感じた地球の守り方

～SDGsの視点から～

清心中学校 3年 白神 春陽

倉敷は昨年豪雨災害を経験し多くの尊い命を亡くしました。

近年、自然災害が多くなった理由の一つに地球温暖化があげられています。

2015年国連で国際社会共通の目標であるSDGsが採択され17の目標が掲げられました。その中で地球温暖化に関係しているものだけでも

⑦AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY (エネルギーをみんなにそしてクリーンに)

⑬CLIMATE ACTION (気候変動に具体的な対策を)

⑭LIFE BELOW WATER (海の豊かさを守ろう)

⑮LIFE ON LAND (陸の豊かさも守ろう)

と掲げられています。



NZは水力・地熱・風力・太陽光・潮力・バイオマスなど再生可能な自然エネルギー率79%、2025年までに90%にと目標があります。もちろん原子力発電はありません。

日本は震災や原発事故から「エネルギー基本計画」の見直しを行っています。

NZと日本は同じ島国で四季があり原住民のマオリの影響を受けている「石一つ、魚一匹、一輪の花それぞれに神様が宿る」という生命観は「八百万の神が宿る」という日本の自然信仰と共通したところがあります。

もちろん人口や風土、産業などの違いはありますがなぜNZは自然を大切に自然エネルギーを推進し原発に頼らないエネルギー政策をすすめていけるのか、自然エネルギーだけで電力は十分にまかなえるのか、生活への支障はないのか、人々の節電に対する意識、具体的にどういった節電や生活の工夫をしているのかということが気になりました。

★停電

- ・停電はほとんどなく生活への支障は感じたことがないそう

★自家発電

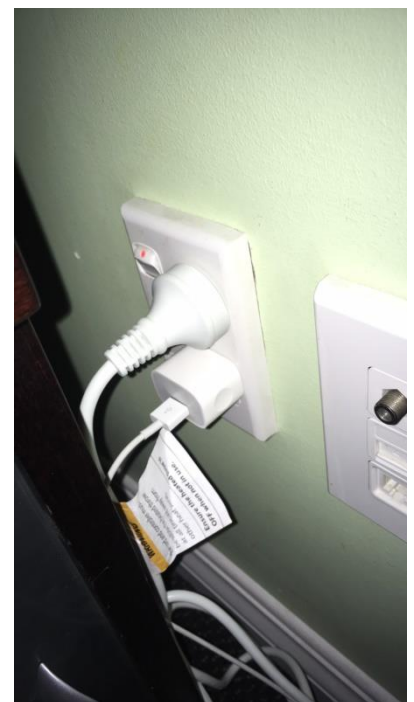
- ・日本では家庭でも太陽光発電システムを整備している家庭が多くあるが、ニュージーランドではあまり見かけなかった
- ・そのほかの自家発電システムを導入している家庭はみられなかった

★市街地

- ・自動販売機は盗難という問題もあり数は非常に少ない
- ・コンビニなどもガソリンスタンドに併設されており日本に比べて数は少ない
- ・日本では夜間でも街灯が多く、特に私が住んでいるイオン周辺では夜間でも明るいですがホストファミリーの住宅街などでは街灯はあるが数は少ないこと、コンビニなど店舗の照明が少ないため夜は少し暗い印象だった

★家庭

- ・各コンセントには電源のON-OFFのボタンがついている
ホテルにも同様のスイッチがついていた

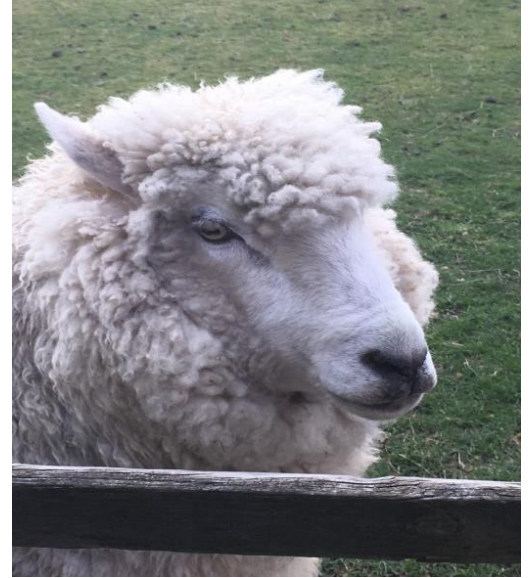


- ・暖炉があり燃料は薪を使用していた
- ・家庭内では灯油やガスの使用はなく、オール電化だった

- ・電気代は600~900ドル(5~7万円)で物価は日本と同等かやや高い程度
私の家も同様にオール電化だが真夏の消費量が多い時でも12000円程度ということから電気代は非常に高いことがわかる

★自然

- ・真冬の訪問であり寒いことを覚悟して防寒着を用意していったが、雪が降ることもなく昼間は15度以上になることもありあまり寒さを感じなかった
- ・またこれは個人差が大きいと思うが、冬でも屋外プールを楽しんだり、外出もショートパンツだったり寒さに強い（暑がり）な印象を受けた
このことは暖房をあまりつけないことにつながると感じた
- ・夏（1～2月）も30度を超えることはあるが日本のようなエアコンがなければ室内でも熱中症になるような暑さではないそう
- ・街中でも鳥など動物と触れ合うことも多く、ホストファミリーの家でも犬・猫・鳥など多くのペットを飼っており、周辺には牧場や広大な自然を身近に感じ、家や学校など建物も平屋で敷地は広くゆったりとしており自然の中で生活しているという印象を受けた



★まとめ★

自然エネルギーが多いと電力は不足するのではと思っていましたが実際はまかなわれていると感じました。しかし電気代は非常に高く、家庭によってはシャワーの短時間利用や洗濯は毎日行わないなど日本と同じ感覚で利用することは難しく節電の意識へとつながると思いました。

NZでは高層の建物が少なく、視界に常に自然があり、豊かな自然のなかでゆったりと生活していることが当たり前で自然の中で生きている・自然の一員であると感じました。

またマオリの人々の「自分たちが大地に属し環境に依存しているその自然を壊してはならない」という考え方がNZの人々の環境に対する考え方のベースになっていると思いました。



日本では夜でもお店の照明や街灯、自販機など真っ暗になることなく電気を使い続けています。私の家はオール電化で家庭内でもすべてのことにおいて電気に依存した生活を送っています。たった数分の停電すらパニックになるのではないかとこのほど電気なしの生活は想像さえできません。確かに今の日本の安定した電気供給はとても大切なものです。しかし見直せば本当に今この電気は必要なのだろうかと思うところはあります。今の状況を満足・便利とするならばそれは不満・不便ととらえられるかもしれません。しかしその不満・不便をどう受け入れ、工夫し、どう生きるのかを

考えることが節電のカギとなり地球を守っていくことへ繋がっていくと思いました。

日本と NZ を単純に比較することはできませんが、日本が再生可能エネルギーだけで電力を補うことは決して無理な話ではないと思います。私たちは何かを変えようとするとき不便になることやマイナスのことばかりに注目し行動化にストップをかけてしまいます。しかし本当に大切なものは何かということを考え行動していくことが、世界が一つとなって SDGs の目標を達成していくための第一歩だと思います。